

三池港に新たな国際コンテナ航路 (国際フィーダー航路)が開設！

福岡県および大牟田市では、県南地域の物流拠点として、三池港のコンテナ貨物取扱量の増加ならびに利用促進を図るため、様々な取り組みを行っています。

その結果、新たに令和7年8月23日から、OOCL社と井本商運株式会社が連携して三池港と諸外国を結ぶ国際フィーダー航路が開設されることになりました。

【福岡県知事コメント】

三池港と東南アジアや欧米などを結ぶ新たな国際フィーダー航路の開設を心から歓迎します。

これは、福岡県と大牟田市をはじめとする関係者が力を合わせて、港湾機能の拡充やポートセールスなどに取り組んできた成果であり、大変うれしく思います。

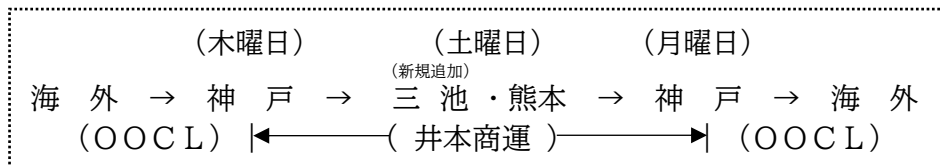
この度の国際フィーダー航路の開設により、三池港のコンテナ貨物取扱量の増加が期待され、国際物流の拠点としての重要性は一層大きなものとなります。

そして、本県が取り組んでおります県境地域振興の観点からも、大きな効果をもたらすことが期待されます。

今年は、三池港が明治日本の産業革命遺産として、世界文化遺産に登録されてから10周年という節目の年。当時の面影を残しつつ現在も力強く稼働を続ける三池港が、今後も福岡県の重要港湾として、地域経済の発展に大いに貢献できるよう、地域の皆様と力を合わせて取り組んでまいります。

1 国際フィーダー航路の概要

- ・便 数：週1便（毎週土曜日入港）



- ・船会社（外航）：オーオーバーシーエル OOCL (オリエント オーバーシーズ コンテナ ライン リミテッド Orient Overseas Container Line Ltd.)
本社 香港
- ・船会社（内航）：井本商運株式会社
本社 神戸市
- ・開設日：令和7年8月23日（土）

2 記念式典（主催：福岡県・大牟田市）

- ・期 日 令和7年8月27日(水) 10：30～
- ・場 所 三井港倶楽部（大牟田市西港町2丁目6）